

病院機構だより

介護予防・人材育成・ICTで中山間地域を支える

地域住民の日常生活を守る病院であり続けるために

問い合わせ先

地方独立行政法人府
中市病院機構事務局
(☎45-3300)

の高校から多くの申し込みがあり、参加した高校生は採血・注射や内視鏡の体験など、普段では体験できない実践的な実習を受講して、大変好評でした。

心を持ってもらうことだけでなく、地域の事業所と協力し、働きながら介護の仕事に必要な専門資格が取得できる実習プログラムの構築を目指したいと考えています。

府中北市民病院では、上下地域の将来を見据え、「積極的な地域での啓発活動」と「医療・介護人材の育成・教育」に取り組んでいます。

令和3年度も、コロナの状況を見ながら、さまざまな事業に取り組んできましたので、その一部と今後の活動の展望などを紹介します。

地域に広める健康のコツ

診療の合間を縫って、院長が社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと一緒に、地域で活動しているサロンやグループなどを訪ね、講演などを行いました。講演の内容は、いつまでも健康で暮らし続けるためのフレイル予防などの話が中心ですが、より具体的な運動の話や、理学療法士などをサロンや体操教室に出

掛けて指導することもできますので、要望があれば相談してください。



この他にも、サロン参加者にフレイル健診を実施し、適した介護予防事業につなげるといった取り組みを計画したいと考えています。

学生に好評の看護・介護実習

以前から、上下中学校のキャリアアスタートウィークの受け入れや上下高校の実

習の受け入れを行ってきましたが、本年度はさらに、上下高校で出前授業をし、看護や介護の仕事の魅力を伝える授業を実施するほか、医療職を希望する広島県内の高校生を対象にした高校生医療体験セミナーを開催しました。



この体験セミナーでは、上下町だけでなく県内各地



また、医療機関の医師確保を支援する広島県地域医療支援センターが主催する研修を受け入れ、当院が行っている地域医療の講義をしたり、福山平成大学福祉学科の学生に当院の地域医療活動を通して地域が抱える課題を考えてもらいました。今後も、地元の学校をはじめ、さまざまな教育機関と連携した活動を行うことで、医療や介護の仕事に関

ICT活用でマンパワー不足を解消

府中北市民病院では新たな取り組みとして、マンパワーが不足しがちな中山間地域においても、ICT技術を活用することで、高齢者の一人暮らしでも安心して暮らせる環境づくりを進めることを検討しています。これからも、府中北市民病院の取り組みにご期待ください。

